

《 令和3年度予算決定 》 ・ ・ ・ 健康保険料率；（一般）据え置き・（介護）据え置き

令和3年2月19日に開催された第165回組合会において、令和3年度の事業運営方針及び収入支出予算が承認され、決定いたしました。一般勘定の収入支出予算 28 億 6354.1 万円（被保険者一人当たり 610,811 円）、介護勘定の収入支出予算 4 億 200 万円（保険料徴収被保険者一人当たり 137,812 円）となりました。尚、保険料率は一般健康保険料率を別途積立金の状況を鑑み、90/1,000 で据え置き、同様に介護保険料率についても 18/1,000 の据え置きで可決されました。

令和3年度事業運営方針

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策に端を発する働き方改革の悪影響により、生活習慣病が蔓延、悪化するのを予防すべく継続して積極的に保健事業を推進する。

そのために「データヘルス計画」における社内プロジェクト体制の強化とデータ分析に基づく施策の立案、推進及び評価。特に生活習慣病の重症化予防、被扶養者対策及び歯科健診率の向上。歯科の特定保健指導の実施 ②特定健診及び特定保健指導の実施率の向上。③医療費適正化に向けてのジェネリック医薬品への転換推進。これらの課題解決向け、母体（人事部、健康サポート室、ライオン歯科衛生研究所等）と連携・協力して推進していく。多岐にわたる活動に関する取組を下記方針と施策をもとに円滑な事業運営を進めたい。特に、ウォーキングキャンペーン、インフルエンザの予防接種等を行い、健康を増進する保健事業を推進する。

1. 財政健全化の推進

- (1) 一般・介護保険料率を中長期視点で別積金活用前提に総合的に検討
- (2) レセプト点検強化による不適切な医療費支払防止（外部委託連携強化）
- (3) 医療費通知発行による診療不正請求防止と受診者コスト意識向上
- (4) ~~（柔軟な運用の適正利用の促進）~~

2. 保健事業の重点化と効率的推進

- (1) データヘルス計画への対応（サポート室・LDH・外部コンサルと連携強化）
- (2) 特定健診・特定保健指導の更なる体制作りの推進
- (3) 特定保健指導被扶養者に対する保健指導を本格化
- (4) 歯科の特定保健指導の開始
- (5) 医療費適正化に向けてのジェネリック薬品転換促進
- (6) 健康保持・増進の為の新たな保健事業企画の推進
- (7) 健康活動推進に向けた看護職、窓ロスタッフ等との連携強化
- (8) 人材開発センター新システム稼働への協力

3. コンプライアンスの徹底とレベルアップ

- (1) 加入者への情報の適時、適切な情報提供と開示の徹底
- (2) 個人情報保護に係わる規程・契約等の整備と外部委託先の管理徹底
- (3) 監事監査時に事務処理体制の構築に自己点検シートを活用

4. 適用・給付業務見直しと事務処理体制の強化・業務効率化

- (1) マイナポータル活用への準備
- (2) オンライン手続き（得喪手続）への対応
- (3) ホームページの内容見直しによる、サービスレベルの向上

予算編成方針

◎健康保険、介護保険においてそれぞれに適正な保険料率を設定する。国の介護保健財政の逼迫状況より、今後の介護保険給付金の増額に備え、介護保健料率の柔軟な見直し体制を整える。被保険者の可処分所得の減少に配慮し、一般保険料率については、別途積立金と法定準備金の残高を考慮に入れて、介護保険料率とのバランスに配慮して決定する。

1. 一般勘定予算策定の留意点と策定方針

- (1) 予算策定に関する基本的な考え方
- ① 事業主、被保険者の負担割合（62 対 38）は据え置く。
協会健保、同業他社・同地区の保険料率と比較、法定準備金、別途積立金の適正な残高の維持を考慮し総合的に判断する。
- ② 介護保険料とのバランスを考慮し、極力被保険者の負担増は招かない。
- ③ 前期高齢者納付金、後期高齢者支援金の動向に注意を払い一般勘定の収支のバランスに配慮。
- ④ 将来的には、被保険者と被扶養者の健康状態の改善による、保険給付の低減を目論み、積極的に健康を維持増進する為の保健事業の充実を図る。
- ⑤ 体育奨励費、保健指導宣伝費の中央集権化を図り、費用の有効活用と最適化を図る。

2. 介護勘定予算策定の留意点と策定方針

- (1) 予算策定に関する基本的な考え方
- ① 今後の直近3年間ほどの、介護給付金の増加を健保連の予想値から見通して、十分な準備金を維持できる程度の保険料率を設定する。
- ② 介護勘定の準備金残高を一定額に保つよう試算。
令和3年度残高 86.6 百万円（令和3年度見通し 142.5 百万円 +11 百万円）

令和3年度収入支出予算（一般勘定）

< 予算額算出時の基礎数値；令和2年3月～令和3年2月平均 >

平均標準報酬月額	409,000 円	全被保険者一人当たりの標準賞与額		2,268 千円	
被保険者数	4,610 人	総標準賞与額（年間合計）		808,315,200 千円	
平均年齢	44.62 歳	被扶養者数	3,752 人	扶養率	0.8 人
前期高齢者数	173 人	前期高齢者加入率	2.10%	保険料率	90／1,000

< 収入の部 >

科 目	予算額(千円)
健康保険料	2,773,081
国庫負担金	622
徴収金	1
国庫補助金	1,668
特定健診等事業収入	25,432
雑収入	5,544

小計（経常収入） 2,806,348

調整保険料収入	40,892
別途積立金繰入	29,424
財政調整事業交付金	15,000
その他	1,303

収入合計 2,892,965

< 支出の部 >

科 目	予算額(千円)
事務費	67,234
保険給付費	1,316,227
拠出金	1,125,050
保健事業費	238,792
還付金	400
連合会費	1,350
雑支出	3,000

小計（経常支出） 2,752,053

財政調整事業拠出金	48,892
予備費	100,000
その他	20

支出合計 2,892,965

令和3年度収入支出予算（介護勘定）

< 予算額算出時の基礎数値；令和2年3月～令和3年2月平均 >

平均標準報酬月額	454,000 円（対象者＝40歳以上65歳未満の被保険者）	総標準賞与額（年間合計）	116,064,000 千円
保険料徴収者一人当たりの標準賞与額	2,600 千円	保険料率	18/1,000
第2号被保険者数（介護保険対象者）	4,036 人		
（うち保険料徴収者）	2,860 人		

< 収入の部 >

科 目	予算額(千円)
介護保険料	402,410
繰入金	3,787
雑収入等	3

収入合計 406,200

< 支出の部 >

科 目	予算額(千円)
介護納付金	391,000
介護保険料還付金	200
予 備 費	15,000

支出合計 406,200

令和3年度 保 健 事 業 計 画

◆データヘルス計画への対応

健康サポート室、ライオン歯科衛生研究所、シンクタンクとの社内プロジェクトにより、健診データ、レセプトデータ分析とデータヘルス計画に基づく効果的な施策・保健指導の実施を行っていきます。⇒前期高齢者、被扶養者の家族健診受診率向上の為の受診勧奨、被保険者の特定健診・特定保健指導、ジェネリック医薬品への転換促進、歯科健診受診、歯科の特定保健指導の徹底を主要対策として実施して行きます。

◆医療費削減に向けてのレセプト分析とジェネリック化への挑戦

医療費適正化の一環として、ジェネリック医薬品への切替えの通知の郵送を継続して行います。

◆特定健康診査・特定保健指導事業

採用した管理栄養士により、ダイレクトに要指導対象者にアプローチをすることにより、特定保健指導の実施率を向上させます。新たなスキームを活用して、家族健診被扶養者に対せる初の保健指導を本格導入していきます。

ライオン歯科衛生士研究所に依頼して、初の家族健診受診者への特定保健指導の実施いたします。

◆保健指導宣伝事業

新型コロナウイルス感染症予防対策により、各事業所での集合形態のイベントが企画しづらい状況となっていることから、理事会、組合会で決定した企画を中心とした方式に変更を図る。

ウォーキングキャンペーンや、健康診断の結果が特定保健指導の対象者とならなかった場合に景品が当たる企画を実施し、個別で参加可能となるように変更を掛ける。

更に、令和3年度は、口腔ケアを重点化し、体の特定保健指導に倣って歯科の特定保健指導を実施いたします。

◆疾病予防事業

○ドック健診・家族健診

被保険者の方やご家族の皆様の健康管理のため、健康サポート室との連携により、40歳以上の被保険者を対象にドック健診、30歳以上の希望者に対する婦人科健診及び35歳以上75歳未満の家族健診（被扶養者と任意継続被保険者等対象）を実施致します。婦人科癌検診（30歳以上希望者を対象）を、例年通り定期健康診断にて実施致します。なお、乳癌検診の精度向上の為、乳腺エコーを中心に置き、隔年でマンモグラフィーを実施致します。PSA検査（前立腺がん腫瘍マーカー）を、50歳以上の男性全員、被保険者と家族健診（被扶養者と任意継続被保険者等対象）に引き続き実施致します。

また、令和2年度に急遽実施した、被扶養者へのインフルエンザの予防接種を令和3年度も事業体と協力しながら実施しています。

○歯科健診

歯科健診を定期健康診断と同時に実施し、要指導者への重点指導活動(ALOHA)の推進及びその受診率向上を図ります。令和3年度は更に、特別な歯科指導が必要なハイリスク者に対して、ライオン歯科衛生研究所の歯科衛生士による、3か月間の歯科の特定保健指導を実施します。

○健康づくりセミナー

毎年行ってきた、35歳到達被保険者を対象に「生活習慣病一次予防への気付き」を徹底するライオン健康づくりセミナーや、50歳到達者被保険者を対象に行ってきたLIS21シニアセミナーが新型コロナウイルス感染症予防で昨年は中止になっている。本年度は健康サポート室、ライオン歯科衛生研究所、企業年金基金と連携し、オンラインやウェブセミナーの様な集合形態に寄らない研修を考案して実施して行きます。また早期に健康リテラシーを醸成する為に、新入社員教育を入社教育の一環として行う予定です。

◆体育奨励事業

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策の影響で、密になる集合形態でのイベント開催や企画が、企画が中止になりました。令和3年度は個人が個別に参加できる企画への変更を図り、運動不足を解消する企画や健康リテラシーを上げる企画を発案して行きます。

ライオン健康保険組合からのお知らせ

●令和3年度家族健康診断のご案内について

平成20年4月からスタートしました医療保険者（健康保険組合等）に対する内臓脂肪型肥満（メタリックシンドローム）に着目した「特定健診・特定保健指導の義務化」に対し、当健康保険組合は、40歳以上から74歳以下の被扶養者および任意継続被保険者（家族を含む）を対象に、家族健康診断が受診しやすい体制づくりを進めてきました。

令和3年度の家族健康診断につきましては、昨年同様に、外部機関「LSIメディエンス株式会社健康検診事業部」に“健診のご案内”から健診後の“健診結果”把握等の業務代行業を委託しています。**健診対象者の方々には、6月中旬頃より緑色の封筒に入った“健診のご案内”を直接お送りいたします。家族健診のご案内がお手元に届きましたら、早目に健診予約をして頂きますようお願い致します。毎年、申し込みが遅くなるほど希望する日時、最寄りの医院等への予約が取りづらくなります。ご注意ください**

い

2021年度予定 ※申込み締切日 2021年10月末日 ※受診締切日 2021年12月末日

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防により受診期間を延長しましたが、令和3年度は今のところ年内までの予定です。

- ・健診予約が一部の健診機関に集中する傾向があります。
- ・従来は誕生月に健診を実施していた地区がありましたが、健診時期は誕生月とは関係ありません。
- ・家族健診を昨年度、受診されていない方も積極的に受診してください。
- ・健康保険組で全額健診費用を負担し充実した内容となっています。

皆様の健診に対するご理解、ご協力を宜しくお願い致します。

●被扶養者の特定保健指導について

令和3年度の家族健康診断より、生活習慣病が疑われる被扶養者（血糖、血圧、脂質異常者）については、特定保健指導の対象者として、保健指導を行います。利用する健診機関によって多少実施方法に違いがありますが、定着化に向けて前向きに推進していきます。

●ジェネリック医薬品について

医療費削減の為に、ご家族全員に「ジェネリック医薬品」の使用の促進のお願いをしております。効き目は先発医薬品と同じものが、特許期間満了になりますと、他の製薬会社でも同じ有効成分を配合した薬を製造できることにより、「ジェネリック医薬品（後発医薬品）」として、開発コストがない分だけ安く製造できます。皆様の家計にも健保財政にも重くのしかかっている薬代を、「ジェネリック医薬品」に切替えることで医療費削減が可能になります。特に、生活習慣病やアレルギー性疾患などの慢性的な病気については、その経済効果が大きくなります。

令和2年10月に被保険者の各家庭にジェネリックシールを郵送いたしました。

なかなか医療機関の窓口で言いにくい場合は保険証に添付することで意思表示になりますので、是非ご利用ください。また、健康保険組合事務局にも予備がございますので、ご要望の方はご連絡ください。

●保険料月額表が掲載されています。

給与から天引きされる、健康保険保険料となります。

こちら⇒<https://www.lionkenpo.or.jp/member/outline/files/fee.pdf>

●扶養確認チャートを作成いたしました

家族の状況が変化した場合に、扶養者の確認を行ってください。

特に、4月に新たにお子さんが就職した場合に申請漏れが多く発生しますので、ご注意ください。

[被扶養者状況確認チャート \(lionkenpo.or.jp\)](http://lionkenpo.or.jp)

●プライバシーポリシー

医療費データの扱い等について記載しております。

* 同じく HP 画面の左上の“組合案内”をクリック後、切り替った画面の一番下、“個人情報保護について”を開いていただくと、当健保の“プライバシーポリシー”についてご覧いただけます。

<https://www.lionkenpo.or.jp/member/info/policy.html>

●【事務局メンバー】 令和3年3月現在の健保組合の事務局は下記の5名です。宜しくお願い致します。

常務理事：谷川 純（業務全般管理）
書記：宇津木克也（給付担当）
書記：須田 吉一（経理担当）
書記：野村ゆり子（保健事業担当）
管理栄養士：大坪沙織（特定保健指導担当）

ライオン健康保険組合

📞 03-3621-6171